

ふりがな	かわにし りゅうじ		※2019年4月21日現在
氏名	川西 竜次	年齢	30歳
所属 (政党・会派等)	無所属	当選回数	0
略歴	2001年 泉大津市立戎小学校 卒業 2004年 泉大津市立誠風中学校 卒業 2007年 大阪商業大学堺高等学校 卒業 2009年 東亜大学医療工学部医療栄養科 中退 職歴 有限会社アドバンス 2018年退社 社会福祉法人泉大津みなと会 現在に至る		

【設問1】 『青少年が夢を持って社会参画できるまち』について、お聞かせください。

※<第4次泉大津市総合計画 施策2>「学びあうひとづくり 彩あるまちづくり」関連

(重要だと思ふテーマ) ※30字以内
先人が築き上げた社会を未来にしっかり紡いでいこう
(自由記述欄) ※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下
<p>人口減少と少子高齢化という流れが今後も避けられない中で、若者が将来に向かって夢を抱くことが難しい世の中です。しかし、だからと言って悲観ばかりしてはいられません。過去の先人たちが苦勞して築き上げた社会を引き継ぎ、今を生きる私達には、これをしっかりと未来へ紡いでいく責任があります。市民参画と協働の理念の下、若者が社会の動きに興味・関心を持ち、さらに自らの意思で積極的に参加する流れを作っていきましょう。</p>

【設問2】 『市民とともにつくる災害に強い安全なまち』について、お聞かせください。

※<施策4>「安心で心やすらぐまちづくり」関連

(重要だと思ふテーマ) ※30字以内
「自助」「共助」を基本とした大規模災害への備えを
(自由記述欄) ※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下
<p>昨年9月に襲来した台風21号は、本市を含む泉州地域一帯に大きな被害をもたらしました。日頃は当たり前のように享受している豊かで便利な生活が、いざ失われたときの対処に戸惑った方も多いのではないでしょうか？南海トラフ巨大地震や集中豪雨、台風などの災害に備えて、お住まいの耐震化や災害保険への加入、水や食料の循環備蓄などの「自助」、近隣で助け合い、分かち合う「共助」を踏まえた対策を考えなければいけません。</p>

【設問3】 『誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり』について、お聞かせください。

選択テーマ 1：子ども・子育て支援 2：地域福祉 3：高齢者福祉
 4：障がい福祉 5：保健・医療

※<施策3>「誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり」関連

(重要だと思ふテーマ)	※選択テーマからお選びいただきご記入ください。
4：障がい福祉	
(自由記述欄)	※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め 100 字以上 200 字以下
<p>以前に比べれば、障がい者に対する社会の理解は格段に進み、バリアフリー、ユニバーサルデザインといったハード面、毎日の暮らしを支える各種サービスなどソフト面それぞれ充実が図られています。今後も一層進む高齢化社会に備えて、「自助」「共助」「公助」の適切な枠組みとバランスのもと、これらの支援の充実とともに、“親亡き後の障がい者”の問題にも応え得る、誰もが安心して暮らせるまちづくりが重要だと思ひます。</p>	

【設問4】 『人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち』について、お聞かせください。

選択テーマ 1：地場産業の振興 2：湾岸ベイエリアの活用 3：ICT・AI化の推進

4：その他

※<施策6>「誇れる・選ばれる・集えるまちづくり」関連

【重要だと思ふテーマ】	※選択テーマからお選びいただきご記入ください。 その他の方は 30 字以下で記入
2：湾岸ベイエリアの活用	
(自由記述欄)	※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め 100 字以上 200 字以下
<p>全国の活気あふれるまちには、まちの特徴とも言うべき「顔」があります。本市にとっては、国内シェアの9割を占める毛布に代表される「繊維のまち」がそれであり、本市の歴史的な成り立ちや今後さらなる発展の可能性を秘めた「みなと」もその一つです。埋め立てが順次進むフェニックス地区において新たな雇用を創出する企業を誘致し、臨海部と内陸部の均衡ある発展と新規産業と伝統産業が調和したまちづくり施策が必要です。</p>	

【設問5】 あなたが重要だと思ふ泉大津市における施策テーマについて、お聞かせください。

(任意記載項目)

(重要だと思ふテーマ)	※30 字以内
緑豊かな憩いと潤いのあるまちづくり	
(自由記述欄)	※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め 100 字以上 200 字以下
<p>一人当たり 2.97 m²。「泉大津市都市計画マスタープラン」に記された平成 25 年時点で開設している泉大津市の都市公園の面積です。周辺市町や大阪府全体と比較しても少なく、また各種の市民アンケートでも「公園、緑地が少ない」との声は常に上位です。市街化が進んだ本市の中で日常ほっと一息をつくことのできる空間、目に優しい緑、さらに災害時にあっては延焼の防止や避難場所の機能を担う公園や緑地の整備・充実は急務です。</p>	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。